

◆「天の機密を洩らす」という透派の一大秘伝の公開!

「巻二(丁日・戊日・己日・庚日生篇)」(昨年刊行)につづき、巻一(甲日・乙日・丙日生篇)刊行!

平成 23 年 8 月 刊 行

「洩天機^{えいてんき}」は四百字詰三千八百枚を越える超大作です。

本書(巻一)に掲載の七言絶句は百六十首。

透派秘伝の中でも歴史に残る

推命開運法の大秘伝です!

子平極奥
透派密伝

四柱推命・

洩天機

卷一 《甲日・乙日
丙日生篇》

—— 命式に合わせた開運法 ——

張耀文・佐藤六龍著

本間凡鯉・漢詩読下し監修

A5判・上製函入



四柱命式別・男女別のチャンス獲得危機打開の開運対処法!

人生の一大困難にぶつかった時どう対処すればその困難を乗り越えられるか、あるいは日頃の心構えとして、どのようなことに注意すべきかを、美しい七言絶句の漢詩に託して説いた子平術の秘伝です。

◆四柱の命式別(日主・喜神・忌神の三千の関係)、男女別に、漢詩一首を掲げ、その命式の人がどのような生き方をすれば開運につながるか、難事を切り抜けられるかを具体的に説いた書です

■六親(変通星)の象意・干関係の象意がくわしく述べてあります。

■すべてに実例命式を掲げ(二六〇例)、強弱・格局・喜神忌神が明記してありますから、格局・喜忌の取り方の勉強にも役立ちます。

■漢詩のこころよい響きと共に、自分独自の人生開運術を会得することができます。

☆☆☆☆☆☆☆☆ 本書のまえがき 佐藤六龍より ☆☆☆☆☆☆☆☆

「洩天機」とは、「天の機密を洩らす」という意で、四柱推命術の干の配合を、男女に分けて説いたものです。

漢詩(主に唐詩と宋詩)の七言絶句で構成され、その詩の前に、命式八字の要点(ここでは識・日主・喜神・忌神)を七字の熟語で付したものです。つまり男女別の七言絶句詩と命式の要点の識の二点で構成された、子平術の秘伝です。

この詩の生年・生月・生日・生時の干支にあたる人が、一生のうち、どうしようもない困難にぶつかった時に、この詩と識をひもどくと、その対処法なり開運法なりがわかる、というしくみになっています。

「洩天機」は透派の秘書となっているくらい素晴らしいものですが、万人が漢詩や子平八字を理解できるものではありません。

そこで、漢詩に評註を加え、さらに識に述べられている子平八字の象意を、万人がわかるようにくわしく解説しました。特に識のあらわす六親(変通星)の喜忌の象意と、その吉凶現象にのぞんでの開運対処法を事ごまかに述べました。

よって、子平術の秘伝書としても、人生の開運対処法としても、双方に用いられるよう、くわしく説いてあります。(後略)

喜神 甲木
日主 甲木
忌神 丙火

天機識

双木成蔭 早陽烈
(双木蔭を成し 早陽烈し)

甲木が助けあっている(日主甲木・喜神甲木)ところを、忌神の丙火がカンカンに照らし、せっかくの木蔭も、太陽の激しさに、その効果がうすれてきます。大まかにいうと、身助で、甲木が甲木に助けられ、丙火の食神が、この助けあいを妨げています。

忌神としての食神の欠点は、その頑迷さにあります。男女とも同じように、あることに対しての頑迷さを棄て、もつと柔軟性に富んだ考え方をすることが必要とされます。

人生如夢又如雲 人生夢の如く 又雲の如し

一旦随風便失群 一旦風に随いて 便すなわち群れを失う

揮手依依相別後 揮手依依として 相別れし後

不知何日再逢君 知らず何日ぞ 再び君と逢うを

乾造

《語釈》

○五原―いまの内蒙古自治区の五原県地方で、位置が北方にあるため、春が非常に遅い。 ○春色―春の景色。 ○旧―もともと。昔から……。 ○垂楊―枝垂れ柳。 ○即今―ちょうど今。 ○冰開―氷が春だんだん溶けて来ること。

《解説》

五原では、もともと春が来るのが中国各地よりも遅く、二月になっても、枝垂れ柳にはまだ糸がかかりません。そして、五原でようやく氷が溶け始めた今頃、長安ではもう花が落ち始めています。――という詩意。

もともと立っている立場としての条件がわるく、秃山にあっては、せっかくの甲木の助けあいも、なんの役にも立ちません。

立地条件がもともとわるいため、いくら素晴らしい助けあう相手がいっても、あまり役にたちません。

この詩は、いま自分が立たされている立場のわるさを教え、これでは、いくら助けあう人の力が

強くても、共倒れになるだけだと言っています。したがって、助けあう人よりも、まず自分が立たされている立場の条件をよくすることが第一だ、と強調しています。

例：某男性

傷官 丁酉

偏財 戊申 月令

甲戌 庚金

比肩 甲戌

「強弱」木・平 火・強 土・強 金・弱 水・弱

「格局」七殺格 「喜神」水・木

命式の五行が平均しており、身弱の内格になります。命式のなかで「洩天機」にとって必要な要素である、

主喜は時干の甲木

日主は日干の甲木

主忌は時干の戊土

というようになるので、識は「有相依為命秃山木」です。

強めたい甲木を、丁火に生じられた戊土が分抗し

【ご注意】

本書の前に、必ず『四柱推命活用秘儀』をお読みください。『四柱推命十干秘解・四柱推命術奥義』をご購読後に本書を読まれると、一層理解が深まります。

【四柱推命・参考書籍】『これで身につく四柱推命』『四柱推命術極秘伝』『四柱推命五大秘伝集』『四柱推命術密儀』『四柱年運・月運秘法』

『子平推命実占講義』『四柱推命実践命譜』『子平推命合婚法』『四柱紫薇実占解明』『子平命式譜』『四柱命譜審詳』『子平一得』『子平象意』

典故 乾坤』『四柱推命の真理 天地人』